

貸借対照表

平成28年 1月31日 現在

セーフティ&セキュリティ 株式会社

(単位：千円未満切り捨て)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	96,950	【流動負債】	73,749
現金及び預金	43,931	買掛金	4,796
売掛金	18,277	短期借入金	16,664
商品	27,774	未払金	38,795
貯蔵品	140	未払費用	4,759
前渡金	583	未払法人税等	2,163
前払費用	2,725	預り金	318
未収入金	445	賞与引当金	6,251
未収法人税等	3,203	【固定負債】	22,979
貸倒引当金	-131	長期借入金	8,775
【固定資産】	54,457	長期未払金	4,204
【有形固定資産】	3,260	社債	10,000
車両運搬具	2,712	負債の部合計	96,729
工具器具備品	548	純 資 産 の 部	
【無形固定資産】	45,242	【株主資本】	54,677
のれん	43,386	資本金	9,000
ソフトウェア	1,856	資本剰余金	1,000
【投資その他の資産】	5,954	資本準備金	1,000
出資金	10	利益剰余金	44,677
敷金	3,257	その他利益剰余金	44,677
差入保証金	2,212	繰越利益剰余金	44,677
長期前払費用	428	(うち当期純利益金額)	16,345
預託金	45	純資産の部合計	54,677
資産の部合計	151,407	負債及び純資産合計	151,407

注 記 表

セーフティ&セキュリティ 株式会社

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づいて簿価を切り下げる方法）によっております。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

車両運搬具、工具器具備品については定率法を採用しています。

(2) 無形固定資産

ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

のれん償却については、その投資効果の発言する期間（5年）に基づく定額法によっております。

引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込み額に基づき計上しております。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により、費用については発生主義により計上しております。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。